



# 淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.16



～ 5～8工区の現場状況を紹介します ～

## ◆5～8工区の現場状況紹介

淡路駅付近連続立体交差事業では、事業区間 7.1km を全 8 工区に分割して工事を行っています。前回の 1～4 工区の紹介に続き、今回は 5～8 工区の現在の現場状況について紹介します。

各工区の紹介は、以前の事業だよりでも概要を掲載していますので、あわせてご確認ください。

※各工区の位置や踏切の場所については

「事業だより Vol.07(H25.02)」を参照してください。

○5 工区(淡路駅～上新庄駅間) 前回の掲載 Vol.11(H26.07)

5 工区の北陽踏切付近では仮線への切替えが完了し、これから仮線への切替えにより確保したスペースと、既存の道路を工事のため一部占用し、高架構造物の基礎をつくる工事を進めていきます。(写真①)

また、善隣社踏切付近では、基礎工事が完了し、これから柱を立ち上げる工事を進めていきます。(写真②)

写真①は、北陽踏切付近から上新庄駅方向を、写真②は、善隣社踏切付近から上新庄駅方向を撮影した写真になります。

○6 工区(柴島駅～淡路駅間) 前回の掲載 Vol.05(H24.08)

6 工区では、柴島駅付近において高架構造物の基礎工事(地表面からの深さ約 22m)が完了し、柱の一部ができてきているのが写真③で分かります。同じように柴島駅から瀧過池踏切付近まで順次工事が進んでいます。

また、柴島踏切から南側では阪急電鉄千里線の側道を、工事ヤードとして占用して工事を進めています。(写真④)

④)現在は、既存の高架橋の補強工事が一部完成し、これから高架構造物をつくるスペースを確保するため、下り線の横に仮線工事を進めていきます。

5 工区の現場状況



工事場所



工事場所

6 工区の現場状況



淀川キリスト教病院

柱  
工事場所

上り線

下り線

工事場所





発行 平成 28 年 3 月

発行者:大阪市建設局

# 淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.16



～ 5～8工区の現場状況を紹介します ～

## ◆5～8工区の現場状況紹介

○7 工区(下新庄駅周辺) 前回の掲載 Vol.09(H25.12)

現在 7 工区では、下新庄駅の両側にある五田名北踏切と下新庄踏切付近で工事を進めています。

五田名北踏切と下新庄駅の間で高架橋の基礎をつくるため、阪急電鉄千里線西側の側道を、工事ヤードとして一部占用し工事を行っています。(写真⑤)

下新庄踏切付近では、現在の線路の横に仮の線路を設け、それによりスペースを確保して高架構造物をつくる「仮線(かりせん)工法」で工事を進めています。写真⑥でも分かるように仮線工事を行っています。このため、仮線への切替が完了し踏切を短縮するまでの間、踏切を東側へ延長していますので、通行の際は注意して下さい。

※ 工法については「事業だより Vol.02(H24.01)」を参照してください。

○8 工区(神崎川付近～吹田駅間) 前回の掲載 Vol.09(H25.12)

8 工区では 7 工区と同様に仮線工事を進めています。写真⑥、⑦、⑧で現在の線路の横に仮線を設置している状況がお分かりいただけるかと思ます。

写真⑦は、神崎川付近の大阪市側の仮線工事の状況になります。写真⑥と⑦では、仮線のレールを支えるために必要な、コンクリート製の枕木(まくらぎ)が並んでいます。

写真⑧は、吹田市域の写真になりますが、十三高槻線側から大阪市方向を撮影したものです。

仮線工事が完了した後は、下り線(淡路方面行き)を仮線へ切替えて、上り線(北千里方面行き)を現在の下り線の場所へ切替えれば、現在の上り線の場所で高架工事を進めていきます。

工事現場の周辺は、工事の進捗により道路の形態などが変わっているところがありますので、注意してご通行ください。

また、工事に伴い何かとご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

7 工区の現場状況



8 工区の現場状況

